

静岡

福岡県在住の静岡県出身者や福岡県とかかわりが深い静岡県内の企業などでつくる「福岡ふじのくに静岡県人会」(会長:森寛羽野水産(株)取締役福岡支社長)が8月7日(水)、平成25年度総会を福岡市内ホテルにて開催し、静岡、福岡、両県交流の促進に向けて連携強化を図ることを確認した。

法人会員、個人会員の約40名をはじめ、大須賀淑郎静岡県副知事や静岡県との文化交流を図る方々が来賓として出席した。森会長は、「富士山世界文化遺産登録が福岡県人にとり静岡県がより身近に感じるようになった」ので、今後も会員一人ひとりが両県の交流促進の一助になるよう協力を求めた。また、大須賀副知事もまた、富士山静

岡空港利用、富士山世界文化遺産登録協力への謝意を伝えるとともに、「登録がゴールではなくスタートであり、今まで以上に交流を通して協力してほしい」と挨拶した。議事では、富士山静岡空港利用支援や両県交流会開催の承認、任期満了に伴う役員改選などが行われた。

総会後の懇親会では、故郷の状況を懐かしむと同時に来年の大河ドラマ「軍師官兵衛」の黒田官兵衛ゆかりの地の紹介や観光訪問依頼など今後のビジネス発展につながる会話もあり有意義な時間がもたれた。

また懇親会終了後、駿河の国(現静岡市葵区柘沢)で生まれた高僧「聖一国師」が開山した承天寺(博多区博多駅前)を訪ねた。聖一国師と福岡の夏祭りとして有名な「博多祇園山笠」や「うどん」、「饅頭」、「お茶」とのかかわり、県人会のために特別にライトアップされた石庭の意味(聖一国師が渡った玄界灘の波と対岸の中国、波間に見える壱岐対馬など)などについて神保至雲住職よりお聞きし、昼間とは一味も二味も違った幽玄の世界を楽しんだ。その後、総会に来賓として出席された平田忠氏(管崎宮禰宜)の計らいで、鎌倉中期、蒙古襲来(元寇)のおり、俗に云う神風が吹き未曾有の困難に打ち勝ったことから、厄除・勝運の神としても有名な日本三大八幡宮に数えられる管崎宮(東区箱崎)を見学した。

福岡ふじのくに県人会は4年目を迎えた。このような文化的な交流を土台とし、団体のみならず各産業界がビジネスチャンスと捉え、より一層の相互往来や緊密な連携を図ることにより、静岡県内企業や産業の成長、地域の活性化が図られていくことが望まれる。

なお、同県人会の事務局の連絡先は以下のとおりである。

福岡県ふじのくに静岡県人会
事務局:スルガ銀行福岡支店
TEL:092-771-1318

福岡ふじのくに 静岡県人会総会 ～人的ネットワークひろがる～



ライトアップされた承天寺(福岡市博多区)の石庭